

学校支援活動：清水小：クラブ活動「おもしろ科学（第1回/全4回）」

2024-10-08 学校支援 Gr

1. 日時：2024-10-08（火） 14：00～15：30
2. 学校：清水小 「おもしろ科学（第1回/全4回）」 中田先生
4年～6年 12名（4年x5, 5年x3, 6年x4）内欠席2名
テーマ：①浮沈子
②マグナスカップ



【浮沈子】

3. 活動状況

- (1) 浮沈子を使って(a)アルキメデスの原理(b)パスカルの原理を実験で学んだ。
- (2) 真水と塩水とで浮力が違うことを実験で確かめた。塩 15g/水 400ml（濃度 3.8%）の塩水を見童に作成させた（塩、水の計量を含めて）。
真水で沈んだ金魚が塩水で浮くことを確かめさせた。
- (3) ペットボトルに浮沈子を入れて、浮いている金魚を沈めるのにどうするか考えさせた。
ペットボトルの両手押さえつけると、あら不思議？金魚は沈む！！ことを確かめさせた。
- (4) 紙コップ2個を連結し回転体（これをマグナスカップと称す）を作り、輪ゴムを使って回転飛翔させると紙コップが回転しながらホップすることを各自自分で確かめることでマグナス効果を学んだ。
はじめはうまくできなくても繰り返しやることでコツをつかんだ見童が多いが、中には最後まで苦しんだ？見童もいた。
- (5) マグナスカップの飛翔はフラフープ（中田先生に準備戴いた）を的にした。的の位置は手に持った高さ、床に置いた距離等思い思いのやり方とした。



【マグナスカップ】



浮沈子の実験指導



マグナスカップの工作指導



マグナスカップ 工作指導



完成したマグナスカップを全員で飛翔

【補足】

- (1) クラブ活動の開始にあたりクラブの指導者と柴田校長と相互に自己紹介した。今年は手芸、ラグビー、バドミントン、卓球、ダンス、将棋、琴、おもしろ科学の8クラブである。
 - (2) 活動は図工室（エアコン未設置）で窓を全開放した、教室が広いこともあり、マスクは自由とした。
先生、見童は付着用であった。
4. 理科クラブ支援者：9名